



# 経営インサイト

管理部門担当者様にとって注目のテーマに気づきをお届けする

## 新型コロナ禍で変化した SDGsへの 取り組み

### 2021年10月 管理部門注目のイベント

1日 健康保険証の本人直接交付可能に  
(健康保険法施行規則及び船員保険法施行規則  
の一部を改正する省令/厚生労働省)  
最低賃金額改正(厚生労働省・各都道府県  
労働局)

1~7日 全国労働衛生週間(厚生労働省)

11日 安全安心なまちづくりの日(警察庁)

18~24日 行政相談週間(総務省)

「2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標」として  
2015年に国連で採択されたSDGs。

日本でも大企業を筆頭に、多くの企業が取り組みを行っています。

2020年からの新型コロナ禍はさまざまな変化を私たちにもたらしましたが、

SDGsに取り組む企業の姿勢にも大きな変化が見られました。

今回は主に中小企業に焦点を当て、新型コロナ後のSDGsへの取り組みの変化や、

SDGsを成功させるポイントなどについて、中小企業診断士の日景聡氏にお話をうかがいました。



中小企業診断士  
中小企業SDGs経営コンサルタント  
カードゲーム「2030 SDGs」公認ファシリテーター  
日景 聡(ひかげ さとし)

取材経験のあるマスコミ出身の中小企業診断士として、SDGsに取り組む各地の先進的な中小事業者を視察し、事例を収集。SDGs経営計画の策定支援、SDGs新規事業創出支援に加え、カードゲームでSDGsを体感で学べるSDGs企業研修など、各地の企業や地域へのSDGs浸透に力を入れている。大学・高校各所で創業やSDGsに関する講義等を通じ、多くの大学生、高校生と交流するなかで、中小企業と若者との連携も目指している。

・2級ファイナンシャル・プランニング技能士(FP 2級)  
・淑徳大学兼任講師

### 中小企業が SDGsに取り組むことにより 得られる4つのメリット

SDGsは売り上げに直結するものではないうえ、内容によっては社内整備や資本投資が必要になることから、あえて取り組む必要はないと考える企業も少なくありません。しかし、従業員を大切にしている企業、地域に根差した企業、環境を重視する企業などと評価されることもあり、中小企業がSDGsの取り組みで得られるメリットはかなり大きいと私は考えています。

#### 1 従業員の活性化

大企業とは違い、多くの中小企業は、どんな会社なのか、どんな事業をしているのかということが社外にほとんど知られていません。しかしSDGsを通して地域社



会と接点が増えることで会社の認知度も上がりますし、何より地域や社会から「素晴らしい活動をしていますね」「いつもありがとうございます」と温かい言葉をかけられる機会が増えていきます。それによって従業員が働きがいを持ち、やる気が増すという効果が実際に出てきています。

また近年では、学生をはじめ若い世代の間で環境問題への関心が高まっています。同時に、仕事を通じて社会貢献できる仕事環境を求める学生も増えているため、SDGsは人材採用においても非常に有効であると感じています。

## 2 取引が安定化する

中小企業が自発的にSDGsに取り組みでいなくても、取引先の大企業などからCO2排出量の削減や人権への配慮などの要請があるケースが徐々に増えてきてい

ます。特にサプライチェーンの一部分を担う製造業においては、その傾向が高まっています。

品質と価格に加え、環境への配慮などが取引先の選定条件として加わっているのです。この点に気づいた企業はいち早くSDGsに取り組み、取引先からの信頼獲得に成功しています。

## 3 資金調達面でも有利に

金融機関では、ESG投資（従来の財務情報だけでなく、環境・社会・ガバナンス要素も考慮した投資のこと）を重視し、SDGs/ESGに配慮した経営をしていると評価できる企業に対しては金利を優遇するなどの施策をとっています。大手金融機関だけでなく、全国各地域でも今後、この流れは更に加速するものと考えられます。

## 4 商品や会社のファンが増える

新型コロナ禍を機に、消費者の間で「選択的消費」「投票消費」という考え方が広がりました。単に値段を比較して商品を選ぶのではなく、社会貢献している企業、環境に配慮している企業、従業員を大事にしている企業などを応援する意味を込めて、それらの会社の商品やサービスを購入しようという消費の動きが加速しています。

SDGsに取り組むことで、こうした感

度の高い消費者にファンになってもらい、価格競争を避けられるというメリットがあります。

### 新型コロナ禍によって、SDGsへの取り組みにはどのような変化があったのか

新型コロナ禍前の2019年までは、SDGsへの企業の取り組みはやや限定的でした。SDGsに取り組むのは、元から環境問題や地域貢献などに関心が高い企業か、もしくは「見栄えがよいようにホームページにSDGsのロゴを載せたい」「SDGsについてホームページで触れたい」といった企業が多かったのが実情でした。

### ■ 新型コロナ禍を経て、存在意義を見つめ直す企業が増加

2020年の新型コロナ禍では、多くの中小企業が経営に大打撃を受けました。売り上げが半減する企業も続出し、長期休業を余儀なくされた会社もあったことは記憶に新しいと思います。

世界を巻き込んだ未曾有の災害に直面し、多くの企業が「そもそも私たちの会社はなぜ存在するのか」「なぜお客様は、今まで私たちの商品を購入してくれていたのか」と、原点に立ち返って存在意義を問う企業が徐々に増えてきたのです。そのプロセスのなかでSDGsの存在に気づいた

企業が多くなりました。

特に、SDGsが提唱している「2030年」がキーワードとなった企業も多いようです。1年後、2年後ではなく、10年後も地域や社会に必要とされる企業であるためにはどうすればいいか。そんな問いを自身に投げかける企業が増えていったのです。

このような流れからSDGsに関心を持ち、経営にSDGsを導入したい、これまで自社で行ってきた取り組みとSDGsを組み合わせていきたいと考える企業からの相談も増えました。

### ■ 「2050年カーボンニュートラル宣言」が更にSDGsを加速させた

2020年の10月、日本政府は「2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにする」という方針を打ち出しました。国が期限を切ったことにより、今まではどこか他人ごとだった環境問題に自分ごととして取り組まなければならなくなったことも、企業のSDGsへの意識を大きく高めました。

### ■ 新型コロナ禍からのSDGs、これから取り組むにあたって注意したいポイント

SDGsに中小企業がこれから取り組むにあたり、何から始めればよいのでしょうか

か。また、押さえておきたい重要な視点についても解説します。

## 環境・社会貢献と経済のバランスが重要

SDGsには、17の目標が設定されていますが、これらは独立した目標でありながら、「持続可能な開発目標の達成」という包括的な目標で全てがつながっています。「どれか1つの目標を達成すればよい」という発想ではなく、会社全体をSDGsの理念とつなげていくことが重要です。

特に重要なのが、「社会」「環境」だけでなく、「経済」とのバランスがとれ、統合された形を達成するという点です。大企業に比べてリソースが限られる中小企業では、特に経済（収益）と環境、社会貢献活動のバランスをとることが難しいように思えるかもしれません。しかし、実は小回りのきく中小企業だからこそ、できることも多いのです。次ページで紹介する2つの企業のように、実際に取り組んで成功している事例も出てきています。

## 現時点の取り組みがすでにSDGsにつながっていることも多い

SDGsに取り組むとなると、「新しいことを始めなければならない」と感じる方も多いかもしれません。しかし多くの場

合、これまで取り組んできたことがすでにSDGsの目標に沿っていることも多々あります。

たとえば、会社の蛍光灯をLEDに換えたところも多いですが、これは目標7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」や目標13「気候変動に具体的な対策を」に紐づきます。新型コロナの影響で、従業員の健康管理に、より一層配慮しはじめた企業も多いでしょう。これは目標3「すべての人に健康と福祉を」や目標8「働きがいも経済成長も」に紐づく取り組みといえます。

このように、すでにSDGsの目標のいくつかに直接紐づく取り組みをされている企業は多いのです。

## 一部の社員だけでなく、全社を巻き込んでプロジェクトを進めていく

最初のうちはSDGsに関心がある一部の人が中心となってプロジェクトを進めるとしても、会社で働く全ての従業員に關わるものであることを周知し、全社を巻き込みながらSDGsへの取り組みを進めることが成功のキーポイントです。

SDGsにあまり関心がない社員を巻き込むときに役に立つのが「2030 SDGs」というカードゲームです。限られたリソースを活用して目標を達成するというシンプルなゲームですが、一人ひとり価値観も違えば、目標への進み方も違いま

す。試行錯誤を重ねつつ目標に向かうなかで、参加者同士の対話が生まれたり、協力体制が生まれたりしていきます。このゲームを通じて、他人ごとだったSDGsが自分ごととして認識されやすくなります。「普段は意見を言わない従業員たちが、このゲームをしたときには積極的に発言していた」「若手従業員にこんな行動力があるとは知らなかった」と驚く経営者も多いのです。

## 経営層の強い決意と覚悟が求められる

SDGsのメリットのところでもお話ししましたが、SDGsに取り組むことにより、特に若手従業員のモチベーションが大きく上がる事例を多く見えました。

ただ、SDGsはすぐに目に見える成果が上がるものではありません。短期的にはコストがかかることもあります。経営層の方々には、この点を強く意識していただきたいのです。

成果が見えないからといって数年で取り組みを止めると、従業員たちのモチベーションは大きく下がります。「この会社は本気で環境問題や地域社会への貢献に関心があつたわけではないのか」と失望してしまうのです。

経営とのバランスをとることはなかなか難しく、課題もありますが、長期的な視野と継続する覚悟をもって取り組みを始め

ていただきたいと思います。

## SDGsで企業価値を高めるために

SDGsへの取り組みにより、従業員の活性化などさまざまなメリットが期待できます。環境問題や社会貢献への関心が高まる気運のなか、SDGsへの取り組みをアピールすることは企業価値を高めることにもつながります。

SDGsを成功させる視点として外せないのが、「バックキャストिंग」すなわち、「未来のありたい姿」というゴールを設定し、逆算して今何をするべきかを考えるということです。「10年後、20年後生き残る会社であるために、今何が必要か」という長い目で見た目標を設定し、目標から逆算して、今必要とされる取り組みを行ってみてはいかがでしょうか。



# 中堅・中小企業 SDGsへの取り組み事例



## その1 株式会社大川印刷 (神奈川県横浜市)

[https://www.ohkawa-inc.co.jp/about\\_us/](https://www.ohkawa-inc.co.jp/about_us/)  
<https://www.ohkawa-inc.co.jp/tag/sdgs/>



### 「環境に配慮した印刷会社」

創業140周年を迎えた大川印刷は、自社の存在意義を「ソーシャルプリンティングカンパニー®」として、本業を通じたあらゆる社会課題解決に向けて取り組んでいます。

大川印刷では環境に正しい印刷「環境印刷」を行っています。石油系溶剤を全く含まない、人にも地球にも負荷の少ないインキを使用し、違法伐採されていない適切に管理された森林から生産された木材を原材料とした用紙を使用しています。また、自社太

陽光発電20%+青森県横浜町の風力発電80%で「再生可能エネルギー100%印刷工場」を実現しました。

従業員からの提案による社会課題解決のための「SDGs経営計画プロジェクトチーム」の活動や、1年間の社内の取り組みを報告する「SDGs報告会」も行っています。

SDGsに取り組む企業や自治体、自然保護団体など多くの方とのつながりを大切に、よりよい社会の実現に貢献しています。

## その2 石坂産業株式会社 (埼玉県入間郡三芳町)

<https://ishizaka-group.co.jp/>  
[https://www.youtube.com/watch?v=UnRoJyV19\\_0](https://www.youtube.com/watch?v=UnRoJyV19_0)



### 「全ての廃棄物を資源に変える」

埼玉県入間郡三芳町に本社を構える石坂産業株式会社は、産業廃棄物中間処理業や再生品販売業などを主な事業とする会社です。

再生品販売業では、SDGsに取り組む前から「全ての廃棄物を資源に変える」という理念を掲げ、再資源化の技術を磨いており、減量化・再資源化率98%という大きな成果を出しています。

また、ゴミや産業廃棄物の不法投棄によって荒れ果てた雑木林

になっていた三富(さんとめ)の里山を再生させるプロジェクトも開始。今では、東京ドーム4個分の里山の復元に成功し、復元された里山は「三富今昔村」(環境教育フィールド)として生まれ変わり、生物観察などさまざまなイベントを開催。たくさんの人々が訪れています。

## カードゲーム 「2030 SDGs」

ニーゼロサンゼロエスディーゼース

### 2030年のわたしたちの世界がどうなっているのかをシミュレーション

SDGsの17の目標を達成するために、現在から2030年までの道のりを体験するゲーム。最小5人から最大200人程度まで同時にプレイでき、与えられたお金と時間を使ってプロジェクト活動を行いながらゴールに向かっていく。

参加者からは「特定の目標にフォーカスしがちだったが、ゲームを体験して、SDGsの全体像を感じられた」「環境や世界に視点が移ると思考や行動が変わっていくのを感じた」などの声が寄せられている。「2030 SDGs」を会社で行いたいときは、一般社団法人イマココラボの公認ファシリテーターに依頼する。または、ファシリテーター養成講座を受講して公認ファシリテーターになることもできる。



カードゲーム「2030 SDGs」  
一般社団法人イマココラボ  
<https://imacocollabo.or.jp/games/2030sdgs/>

本紙に掲載の記事は2021年8月31日時点での情報を基に作成しております。

発行：株式会社 星和ビジネスリンク

本社：〒108-0014 東京都港区芝 4-1-23 三田NNビル4階  
TEL: (03) 5439-2370 (大代表) FAX: (03) 5439-2371

※本誌からの無断転載、コピーを禁止します。(非売品)

●お届けいたしましたのは



NISSAY

(生 21 - 3951, 法人開拓戦略室)